



ふか 議会だより

- 2ページ 議長 新春のあいさつ
- 16ページ 商工会青年部OB会と意見交換会
- 18ページ 所管事務調査

シリーズ
ムチューデント 美郷中
チームワークが自慢「男子バスケットボール部」
〔詳細は19ページ〕



議会トップページへ

議長新春のあいさつ



美郷町議会議長

澁谷 俊二



あけましておめでとうございます。町民の皆様におかれましては、希望に満ちた新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

旧年中は、町議会に温かいご理解とご支援を賜りましたこと、議会を代表いたしまして厚く御礼申し上げます。

県では四八豪雪を超える記録的な大雪を受け、陸上自衛隊に横手市への災害派遣を要請、1月7日には美郷町も含めて県内7市町村を災害救助法の適用を決めるなど慌ただしい年明けとなりました。

町でもそれに先がけて豪雪対策本部を設置しており、議会側も力を合わせ、この厳しい状況に対処していきます。

さて、全国的にも町村議会においては、人

口減少や高齢化の進行の影響等もあり、議員のなり手不足が深刻化しています。

こうした状況の中、議会が住民の代表機関として、二元代表制の一翼を担う立場から適切な役割を果たすためには、議会が自主的な取り組みを積極的に展開し、住民の理解と信頼の向上に一層取り組むとともに、誰もが議会議員となつて活躍できる環境の整備が必要です。

この取り組みの一つとして、昨年6月には全国町村議長会で長年要望しておりました、公職選挙法の一部を改正する法律が議員立法により成立し、これを受けて、12月定例会において、「美郷町議会議員及び美郷町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条

例」が制定されました。

これにより、町議会選挙等における選挙公営の拡大などの措置が取られ、多様な人材が議会に参画できる環境が整いつつあり、次回の選挙からは選挙運動用自動車の使用、ピラやポスターの作成等が選挙公営の対象となります。

美郷町の将来を見据え、議会の使命であります行政監視、不断の議会改革への参画を担っていただく新たな人材に、大きな期待をしております。

本年が町民の皆様にとって平穏な一年となりますよう、心からご祈念申し上げます。

12月定例会

予算
6件

条例など
8件

契約
4件

人事
2件

12月定例会を、12月14日から23日まで10日間の会期で開きました。審議した議案20件すべてを、原案のとおり可決・同意しました。陳情は3件を採択し、関係機関に意見書を提出しました。



博物館事業に補助金(現在は空き店舗)

一般会計補正予算

事業の完了・中止などによる減額
△1億1292万円

新型コロナウイルス対策関連では「特別定額給付金事業」「事業継続家賃支援金給付事

業」「大学生・高校生等応援給付金事業」「学校給食費助成事業」など。

まちなかエリア活性化促進事業補助金
1409万円

床面積が708平方メートルある非木造2階建ての空き店舗を改装して始める博物館事業に1109万円を補助する。

空き店舗を改装し喫茶店とする事業に300万円を補助する。

鈴木(正)議員 博物館事業への補助金は、どのように審査したのか。

商工観光交流課長 補助限度額が2500万円と定められた「大規模にぎわいスペース活用事業」の補助金交付要綱に基づいて審査した。博物館には、大正・昭和時代の骨董品や生活用品など約30万点が展示される。

河川補修事業
450万円

大台川と小田の沢川の護岸補修工事を行う。

住民基本台帳ネットワーク端末を追加導入
4万円

個人番号カード交付にかかる住民基本台帳ネットワーク端末を1台増設する。

予算補正

会計名	補正総額	補正後累計	
一般会計	△7351万円	142億5460万円	
国民健康保険特別会計	△615万円	22億9303万円	
下水道事業特別会計	141万円	2億2216万円	
農業集落排水計	(歳出内訳変更)	2億9013万円	
後期高齢者医療特別会計	245万円	2億1894万円	
水道事業会計	収益的支出	△77万円	4億1484万円
	資本的支出	54万円	4億326万円

村田議員 当町におけるマイナンバーカードの普及率は約12%だが、取得者を増やす方策は。

住民生活課長 3月末までに未取得者全員へ通知を出して、取得を推進する予定。

条例

制定 町議会議員・町長選挙の公費負担に関する条例

選挙運動用の自動車の使用、ピラとポスタの作成にかかる経費の公費負担について定める。

泉議員 ビラの枚数は上限が1600枚と定められているが、それを超える枚数を私費で作成してもよいか。また、供託金が没収された場合は、町の会計に入るのか。

総務課長 公職選挙法により、1600枚を超えて配ることは許されない。没収された供託金は、町の一般会計の「雑収入」に入る。

【反対討論】泉議員 公職選挙法が改正され、町議会議員にも供託金が必要となった。これは立候補に新たなハードルを設けるもので、議員のなり手不足の解消にはならない。ピラ配布の解禁は良いが、1600枚では全世帯数に足らず十分ではない。

廃止 例 金沢ダムと関連施設の設置条例

仙南土地改良区に金沢ダムと関連施設を譲与したため条例を廃止する。

ることであるため、コストで計算できる問題ではない」などの意見があり、出席委員の全会一致で「採択すべき」とした。

不採択 75歳以上医療費窓口負担2割化の中止を求める国への意見書提出の陳情

教育民生常任委員長（藤原議員） 「対象になる人の年収が170万円以上から200万円以上に引き上げられた経緯を考慮すると、政府の考え方は妥当」「団塊の世代が2年後に後期高齢者となるので医療費が増えるのは明らか」「中止すると、若い世代に負担を押し付けることになる」などの意見があり、出席委員の全会一致で「不採択にすべき」とした。

【委員長報告への反対討論】泉議員 受診抑制を強め疾病の発見を遅らせ、結果的に医療費の高騰を招くことになる。高齢者になれば、病気も増えて重くなり、収入も限られてくる。原則1割負担の現在でも、現役世代より多額の負担をしているのが実情。同居している家族が、負担を肩代わりすることになる。

工事請負契約

Table with 2 columns: 案件, 変更後金額. Rows include 道の駅改修工事(道の駅棟), 道の駅改修工事(公衆トイレ・道路情報提供施設棟), ラベンダー園客土土壌改良・排水路整備工事, 後三年地区農業集落排水浄化槽設置工事.

陳情

採択 安心・安全の医療介護の実現のため、国に意見書提出を求める陳情

教育民生常任委員長（藤原議員） 「医療、介護、公衆衛生、社会保障と内容は多岐に渡っているが、全ての項目に賛同できる」「新型コロナウイルスの感染が増えている中、病床の逼迫や医療体制の崩壊が危惧される」などの意

人事

【美郷町監査委員】(新任) 次の方の選任に同意しました。



高橋 信雄 氏 (遠槻)

【美郷町教育委員会委員】(新任) 次の方の任命に同意しました。



栗林 守 氏 (東高方町)

採決結果

採決で賛否が分かれた議案等を掲載しています。議長は採決には加わりません。 ○：賛成 ●：反対

Table with 17 columns: 議席番号, 議員名, 議決結果. Includes rows for 議案第89号 and 陳情第51号.

見があり、出席委員の全会一致で「採択すべき」とした。

採択 「新型コロナウイルス対策を強化し、安心して介護を継続できるようにするために介護施設の改善を国に求める」意見書提出の陳情

教育民生常任委員長（藤原議員） 「マスク、防護服、消毒液などが不足しないように国が手当てすべき」「従事者が定期的にPCR検査を受けられるよう対応してほしい」「コロナ禍でなくとも、介護従事者の労働環境は厳しい状況にある」「介護の資格を取った高校生たちが、介護職に就いていない現実がある。もっと報酬を上げて待遇を改善すべき」などの意見があり、出席委員の全会一致で「採択すべき」とした。

採択 「新型コロナウイルス感染症を教訓に感染症対策を含めた地域医療構想に見直しすること」を国に求める意見書提出の陳情

教育民生常任委員長（藤原議員） 「将来的には病院の統合と病床の減少はやむなしと思うが、改めて検討し直してほしい」「コロナ禍を教訓として今後の地域医療に生かすべき」「感染症が広まった時のことを思うと、病床数には余裕が必要」「医療は命にかかわ



モンベルと相乗効果が 発揮できる施策を

町長 道の駅自体の魅力を向上



むらた かおる
村田 薫 議員

町長 ①敷地入口付近と仮設店舗にのぼり旗を設置した。視認性を高めるために可能な改善策を実施している。また、周辺の除排雪を徹底し、町のホームページ等で積極的に情報発信をしていく。



仮店舗で営業中の道の駅

②相乗効果を上げるためには、道の駅自体に魅力が必要だ。そのために、農産物や特産品販売スペースを

議員 道の駅美郷の改修工事に関連して、次の4点について見解を聞く。
①現在、仮設店舗での営業となっているが、案内表示が分かりにくいので改善を求める。
②モンベル秋田美郷店は、オープン以降相当な賑わいのようなだ。道の駅と相乗効果が発揮できるような施策を検討すべきと思うが。

拡大して商品の充実を図る。また、田園風景を眺めながらくつろげる空間の整備など、機能拡充やこれまでにない機能付与を行うこととしていくので、現段階では当初計画どおりに進めていきたいと考えている。
③新型コロナウイルス感染症に配慮した設計となっているので、内容を変更することは考えていない。
④工期は令和3年3月12日で、リニューアルオープンは4月1日を目指している。

学校等の蛇口を自動式に

教育長 導入は考えていない

議員 新型コロナウイルス感染症対策として、こども園と小中学校の水道蛇口の改修について見解を聞く。
①ハンドル式の蛇口は何パーセントか。
②新築や改修の際に、自動水洗型に変える考えは。

学校のトイレを洋式に

教育長 和式の希望もあり残した

議員 小中学校のトイレを全て洋式便器にすべきと思うが見解は。

ことから、ごく一部に和式を残した。

教育長 こども園はすべて洋式化されているが、小中学校では和式トイレが12基ある。平成30年度の小学校トイレ改修工事の際、和式を希望している児童もいた

12月22日の本会議では、8議員が14項目について一般質問を行いました。以下、質問・答弁の内容を要約してお伝えします。

- 村田 薫 議員 ◇道の駅美郷改修について
◇こども園と学校トイレの蛇口改修を
- 深澤 均 議員 ◇少子化対策と結婚新生活支援事業について
◇リモートワークと移住・定住施策について
- 泉 美和子 議員 ◇行政のデジタル化について
◇PCR検査の実施を
- 高橋 邦武 議員 ◇交流人口・関係人口の拡大について
- 熊谷 隆一 議員 ◇これからの町の農業振興策について
◇異常とも言える豪雨について
- 内田 清文 議員 ◇町内3温泉について
①維持経費を今後どうするか
②循環バスの運行はどうか
- 深沢 義一 議員 ◇今後の財政運営について
◇所得向上への具体は
- 鈴木 正洋 議員 ◇公共施設における公衆無線LANの整備計画について
◇公共施設におけるネット回線の貸し出しについて

一般質問とは？

一般質問は、年4回の議会定例会において行われます。議題とは関係なく、行財政全般にわたる議員主導による政策論議であるため、通告制が採用されています。



議員 深澤 均

「結婚新生活支援事業」実施の考えは

町長 令和3年度から予算化

議員 政府は「結婚新生活支援事業」を実施しているが、現行の支援額30万円を令和3年度から60万円に引き上げる方針であると報道で知った。
町では、これまでこの事業に取り組んでいないが、その要因は何か。この事業について、町ではどのように考えているか。

町長 この事業は、夫婦ともに34歳以下で所得の合計が340万円未満の世帯に30万円を上限に補助するものである。

町でも平成28年に検討したが、晩婚化が進んでいる状況では対象とならない夫婦も相当数いることから不公平感が否めないことや、県内でも取り組みが少なかつたことから実施を見送った。

令和3年度から補助が増額され、年齢が39歳以下、所得も400万円未満に引き上げられるなど、要件緩和の情報を得ている。年齢

要件で8割強の夫婦が対象となることから、不公平感はかなり緩和されるものと考えており、令和3年度当初予算案に反映させるため、作業を進めている。

近年の婚姻数・出生数

	婚姻数(組)	出生数(人)
平成29年	66	93
平成30年	68	87
令和元年	49	76
令和2年	33	66

※令和2年は11月末現在

リモートワークによる移住拡大は

町長 推進に取り組んでいく

議員 新型コロナウイルス感染症対策として、リモートワークといたった仕事のスタイルが拡大している。県では、リモートワークの急速な普及を移住拡大につなげるため、「リモートワークによる社員の秋田県への移住」の可能性についてアンケート調査を行い、多くの企業が実現の可能性ありと回答した。町では、県との連携にどのような期待をしているのか。また、これまでの町独自の移住・定住施策について改善する考えはあるか。

町長 アンケート結果は、移住定住につながる可能性があり、嬉しい結果ではないかと受け止めている。町では、県の支援施策により課題解決が図られる企業があるとすれば、積極的に県と連携しながら、推進に取り組んでいきたい。移住・定住施策については、これまで一定の施策効果をあげているものと認識しており、現時点で現在の制度を見直すことは考えていない。



リモートワークで秋田暮らし in Akita

国の助成でPCR検査を

町長 検査の実施は困難

議員 国は新型コロナウイルス感染症対策として、PCR検査を希望する高齢者や基礎疾患のある方に、一定の費用を助成するとしている。この事業を活用し、町でも検査を実施すべきではないか。

場合に適用されるものだ。町内医療機関に自由診療実施の意向確認をしたところ、実施する医療機関はない状況だ。なお、大仙保健所管内では診療、検査機関として24か所が登録されており、症状がある場合は検査を受けることができる。

町長 この助成事業は、自由診療による検査を受ける

デジタル化答申への対応は

町長 内容や動向を注視



議員 泉 美和子

議員 第32次地方制度調査会の答申では、自治体業務の見直しが提起されている。
①窓口の手続き業務を無人化して、行政サービスは良くなるか。
②無人化によって、マイナンバーカードの取得を強制することにならないか。
③デジタル化は、職員の労働負担軽減のためのものではないか。
④無人化しても職員が直接対応したり、トラブル時に即時対応する体制を。
⑤個人情報保護に関して、規制を後退させるべきではないのか。
⑥デジタル化は、地域住民の意思をもとに自治体が自主的に決めるべきではないか。

行政手続きを完結するというのは、課題も多く難しい。
②現時点において、マイナンバーカードの取得は任意となっている。
⑤個人情報保護制度について国は自治体に国と同じ規律を適用し、定義や取り扱いを共通化するルールを設ける方向で検討しているようだ。
⑥この答申では、自治体の創意工夫の余地が小さい事務についてはサービス標準化の必要性が高いとしても、地方公共団体の自主性を配慮するとしている。今後もその内容や動向について注視していく。

町長 ①③④この答申では、利便性向上のためにオンライン化を進めるという趣旨になっており、無人化は提言されていない。また、窓口業務を無人化して全町民がオンラインで



PCR 検査(イメージ)



高橋 邦武 議員

交流人口を活用した町づくりを

町長 各般の取り組みを推進

議員 町では七滝山などの地域資源を活用することにより、交流人口や関係人口の増加による地域の活気づくりをするとのことだが、具体的にどうするのか。また、町の魅力を発信する際に、SNSが得意な若者を地域おこし協力隊として採用してはどうか。地産外商の推進として首都圏のみならず、仙台市の販路拡大にも交流人口が活用できるのではないかと。業・学・官・金（事業者・大学・自治体・金融機関）に町民を加えた交流会等の開催により、発展的な連携ができないか。

町長 地域の活気は、地域に「動き」があることだと認識している。人および情報が動くときに中核となるのが、交流人口や関係人口だと思っている。観光面では七滝山などの地域資源を活用し、アウトドアなどの体験メニューの充実や観光ガイドや各種ア

クティブティのインストラクターの育成、宿泊施設の充実などを進める。また、特産品の流通量拡大のために新たなネットワークを構築し、物流パイプを太く、多様にしていくことが肝要であり、これらを介した関係性や交流を推進する。

そして、自治体間や企業との人事交流や業務上の職員交流を通じ、プライベートでの交流も拡大してきており、今後も個人、組織に関わらず出会いを大切にしていきたい。

地域おこし協力隊に関しては、「地域おこしフェア」への参加などによってPR活動を行ってきたが、応募者の辞退などもあり採用には至っていない。しかし、来年度は「地域おこし企業人交流プログラム」を通じ、日本航空株式会社との関連会社から社員派遣を受けることにしており、プロモーションを担える人材を軸に調整している。

これまででは交流自治体である東京都大田区での販路拡大を意識してきたが、仙台市の販路拡大については、今後その可能性を探っていきたい。企業や大学との交流会は、今後検討していきたい。



日本航空社員との共同作業（御台所清水）



熊谷 隆一 議員

新品種「サキホコレ」産地化の考えは

町長 本格栽培を見据え検討

議員 農業振興策の「複合作目である野菜や花き、薬用植物等の一層の定着推進」で具体的な作目を掲げているが、現時点でどのように進めていくか。また、秋田県の米の新品種「サキホコレ」の産地化についてどう考えているか。

町長 「美郷」の名称を冠する作目や湧水を活用した作目は、新たに美郷ブランド作物と位置付け、関係機関との意見交換を

通し、その定着拡大に必要なことを探り支援策を講じていく。薬用植物は作業の効率化を図るため、調製機具等の開発を進めることで、定着拡大に努める。

米の新品種「サキホコレ」については、登録されている生産団体や取り組み意欲のある農業者と意見交換を行い、行政の立場から支援の是非やその内容について、本格栽培となる令和4年産米を見据え検討していく。

今後の豪雨対策は

町長 5か年計画で浚渫を実施

議員 7月の豪雨では、ラベンダー園や河川等に大きな被害があった。町では復旧工事の対応はスピーディーに進められているが、今後の豪雨等に対する対策は、

の情報伝達手段は、防災行政無線と緊急FMラジオがある。並びに、登録制メールの登録とヤブー防災速報アプリの周知も推進していく。

町長 県管理河川については、河道断面の確保を毎年要望している。

町管理河川については、今年度「美郷町堆積土砂管理計画」を策定し、5か年計画で浚渫を実施している。今年度は大道川ほか8河川の浚渫、来年度以降も計画的に進めていく。

また「美郷町地域防災計画」の改定作業を進め、土砂災害警戒区域、洪水浸水想定区域等の見直しを行い、新しい防災ハザードマップを作製し、全戸配布する。河川の氾濫や土砂災害が想定される場合、避難誘導





うちだ きよみ 議員
内田 清文

3温泉の維持経費軽減を

町長 改善策を早期に検討

議員 町内3温泉の維持経費を、今後どのように取り扱うのか見解を聞く。

町長 温泉の維持経費は、5年間の平均で年間5700万円となっており、施設の老朽化が進めば、さらに増加することが予想される。行政の対応が求められる業務が年々拡大している状況と、今後の財政見通しを踏まえればできる範囲で軽減していきたい。方法としては、「利用者を増加させる」「利用料の見直し」「営業日や営業時間の見直し」「根幹に係る改修が必要となった温泉の廃止」などではないかと思う。

コロナ禍の状況や影響も見据え、関係者と意見交換をしていきたい。総合的に検討して、何らかの改善を実践することが求められるので、できるだけ早期に検討し、迅速に実施することで軽減を図っていきたい。



湯とぴあ(H4設置)



サン・アール(H5設置)



あったか山(H6設置)

循環バスの運行を

町長 運行は考えていない

議員 今後、大規模な改修が必要な温泉については維持しないこととし、廃止された温泉の跡地に循環バスを運行させてはと思うが、見解を聞く。

町長 仮に、一部の温泉を廃止して運行させた場合、「民業を圧迫することにならないか」「利用者がそこまで何の手段で来るのか」等の課題が発生してくることを考慮すると、現時点での運行は考えていない。



ふかさわ しゅん 議員
深沢 義一

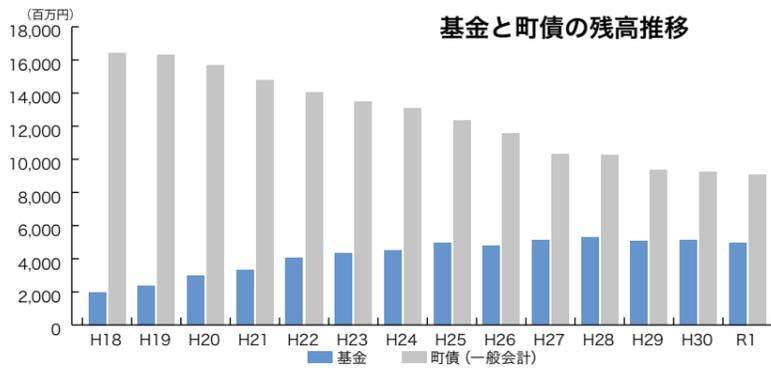
今後の財政運営は

町長 町債と基金のバランスに留意

議員 所信表明の中に、今後の環境変化を踏まえた「公共施設等最適化実施計画」の見直しを含んだ、経常経費の縮減という考えなどがあつた。人口減少への対応など、今後の財政運営について聞く。また、基金債務(残高)についての考えは。

町長 公共施設の再編による経常経費の縮減や、職員配置の見直しに伴う人件費の適正化を行ってきた。また、年度テーマを設けて歳出等を見直すなど、行政コスト縮減に取り組んできている。経常収支比率は県内でも良好な位置づけにある。基金残高については、令和元年度決算で約57億8千万円あるが、特定性の高い基金を除くと、約49億7千万円となっている。債務残高は約90億5千万円である。ただし、町債については後年度の償還に地方交付税算入される有利な起債を活用している。

今後は、人口減少に伴う税収減や地方交付税の減など、環境変化を的確にとらえ、計画的な財政運営に努めていく。



所得向上への支援策は

町長 先端的農業機械導入にも支援

議員 商工業における新たな事業展開に支援策を講じ、その定着拡大により所得向上を後押しすると聞いた。商工業の新たな支援策について聞く。

町長 農業においては事業取り組みへの動機付けとなるような支援も必要と思う。例えば野菜作付け拡大には排水対策や、土壌改良対策などが必要ではないか。また、新たに組み組む農業者への支援や、経営を支える労働力不足も予想されるが考えを聞く。

議員 今後さらに労働力不足が懸念されると思うが、より先端的機械の導入に支援策が必要になるものと考えている。

町長 現在のコロナ禍の中、商工業での所得向上を期すため、まずは来年度からの支援制度拡充を検討する。また、今後も必要と見込まれる新たな支援策を検討していく。

野菜等の栽培推進を図つ



鈴木 正洋 議員

公衆無線LANの整備計画は

町長 主要公共施設を優先し整備

議員 町の公共施設における公衆無線LANの整備について、どのように計画されているのか聞く。

町長 現在、公衆無線LANは、道の駅・湧太郎・ニコ名水庵・温泉施設・ラベンダー園・雁の里山本公園などの主要観光施設に設置されている。

町では、スマートフォンなどの普及状況を踏まえる必要性が高いと感じてい



湧太郎には公衆無線LANを設置済

る。そのため、避難所として指定している公民館、3つのふれあい館、リリオス、災害時の本部となる役場庁舎、利用者が多い学友館については、優先的に整備することを検討している。その他の公共施設は、社会環境や情報化環境などを適切に把握して適宜検討し判断する。

ネット回線の貸し出しを

町長 貸し出しは考えていない

議員 公共施設におけるネット回線の貸し出しについて、見解を聞く。

施設で開催されるイベントをネットで動画配信できるようにしてほしい。

町長 すでに整備されている、あるいは今後整備予定の公衆無線LANで、一定の需要が満たされるもの想定している。現時点での貸し出しは考えていない。県や近隣市の整備状況を確認したが、有線LANを一般開放しているところはない。

◆議員の紹介◆



高橋 邦武 氏
(押切紀の国)

令和2年11月15日、美郷町議会議員補欠選挙が行われ、高橋邦武氏が当選しました。議席番号は2番、所属は総務常任委員会となりました。任期は、令和3年9月30日まで。

第9回臨時会(令和2年11月27日)

条例 4件
予算 5件

議案9件を審議し、全員賛成で原案を可決しました。

条例改正

美郷町議会議員・町長・副町長・教育長・職員のみ期末手当(ボーナス)を0・05月引き下げる条例の一部改正。

一般会計補正予算

条例改正に伴う期末手当の減額のほか、千畑なかよし園の手洗場改修工事費68万2千円、ラベンダー園の排水流末整備工事費44万9千6百円、南学校給食センターの事務室暖房改修工事費64万4千円、小杉崎川の災害復旧工事費400万円など、歳入歳出にそれぞれ710万円を追加し、総額を143億2812万円としました。

第1回臨時会(令和3年1月18日)

専決 1件
予算 1件

専決処分1件と議案1件を審議し、全員賛成で承認・可決しました。

専決処分事項の承認

町が専決処分した一般会計補正予算を承認しました。

内容は、新型コロナウイルスワクチン接種に対応するシステム改修・接種券作成等業務委託費711万6千円、災害救助法適用等による大雪災害復旧費854万8千円の追加。

一般会計補正予算

大雪に伴う公共施設・道路の除雪委託費、雪下ろし等支援事業委託費、軽度生活援助事業委託費の増額など、歳入歳出にそれぞれ1億5273万5千円を追加し、総額を144億2300万4千円としました。

多くのご意見ありがとうございました。

商工会青年部OB会と 議会との意見交換会

意見交換会

令和2年11月19日、「商工会青年部OB会と議会との意見交換会」を役場特別会議室で行いました。参加者は、商工会青年部OB会から10人（事務局1人）、美郷町議会から7人（事務局1人）。町づくりや議会についていただいたご意見は、今後の政策提言と議会改革に活かしてまいります。

プレミアム商品券の発行

意見 美郷町で使用できるプレミアム商品券を発行してはどうか。

議会 町は平成27年と令和元年にプレミアム商品券を発行した。コロナ対策として発行した地域応援商品券・食事券とは、事業の目的などが違う。町民の声も聞きながら、どのような支援ができるか考えていきたい。

道路の拡幅

意見 安全確保のため、幅が狭い道路を拡げてほしい。特にスクールバス路線については、早い対応を望む。

議会 通学路とスクールバス路線について、急ぎ改善が必要な場所

やグリーンベルトの設置など、町に要望していく。

あきた美郷づくりの経営

意見 あきた美郷づくり株式会社は赤字だと聞いているがどう思うか。

議会 「道の駅美郷」の前で、社員が休みを返上して働いている姿を見た。店を開けられない状況の中でも、頑張っていると感じた。町では、県外で暮らしている学生に、特産品を贈る事業を行ったが、それも販売拡大につながっている。会社は令和3年度末の黒字化を目標にしているので、経営状態を注視していく。

六郷の上水道

意見 六郷地区に上水道は整備されるのか。地下水位が下がり、困っている家庭もあると聞く。近頃の人は、上下水道が完備された土地を選んで住宅を建てるようだ。このままでは六郷地区が空洞化してしまう心配もある。上水道がない大仙市太田地区は、利用組合を作り共同井戸の運営をしている。参考になる事例ではないか。

議会 水道事業は、受益者負担が原則の独立会計で、加入者が多くなければ事業として成り立たない。上水道の整備を希望する声も高まってきていると感じるが、アンケート調査の結果では、事業を進められる加入率には達していない。

補足 令和2年に行われた「水道普及地域へのアンケート」調査の結果、六郷地区における上水道整備への賛同率は「25.1%」となり、目標値を下回ったため、事業化は見送られることが決定した。飲料水の安定的な確保のため、個別の支援策が検討される。

議員の定数と報酬

意見 次の町議会議員選挙で、定数はどうなるのか。議員報酬は安いと感じているが、定数を減らし、報酬を上げてはどうか。

議会 全員協議会で議論を重ね、条例改正案として発議することになる。選挙人に周知する期間も含めると、2年くらい前に決める必要があると考えられる。なお、現在の地方自治法では、人口に対する議員定数の決まりはない。

選挙の供託金と没収点

意見 次の町議会議員選挙から供託金が必要になると聞いたが、何票以上とらないと没収になるのか。

議会 供託金は15万円。没収点は、前回の選挙に照らしてみると約75票になる。（没収点＝有効得票総数÷議員定数÷10）



美郷町商工会青年部 OB会 細井光亨会長



熊谷副議長



参加議員

熊谷隆一副議長、深沢義一、鈴木正洋、細井邦男、伊藤福章、深澤均

意見交換会

所管事務調査

地域住民に安全安心な生活を

◆調査内容

小杉崎川の災害復旧状況について
《建設課》

小杉崎川は、美郷町の管理河川である。災害で農地や民家が直接影響を受ける場合は、国の災害認定の対象となる。概算工事費2,010万円を災害申請している。

◆意見

地域住民の要望を受けたスピーディーな対応を評価する。
地域住民が安全安心な生活が送れるように施工して欲しい。農業用水が確保できるような復旧工事を望む。



被災した小杉崎川の現地調査

今後も魅力あるラベンダー園に

◆調査内容

ラベンダー園の植栽・客土土壌改良について
《商工観光交流課》

豪雨と長雨による日照不足でラベンダー約1万株が枯死した。暗渠排水工事5,054平方メートルを今年度中に整備する。
また、枯死ラベンダーを撤去し、2,800株の苗を植栽する。

◆意見

土壌改良や改植を続けながらラベンダーの育成に務められたい。
町の観光スポットであり年間約8万人が訪れる。今後も魅力あるラベンダー園を目指してほしい。



ラベンダー園の現地調査

被害が出ないように周知を

◆調査内容

鳥獣被害(イノシシ)対策について《農政課》

イノシシと思われる被害が10件確認されている。県より許可を得て、くくり罠を2カ所、クマとイノシシ併用による捕獲檻を9カ所に設置したが、捕獲数はゼロであった。県の対策会議にも積極的に参加し、最新の情報収集に努めている。



夜間に活動するイノシシの親子

◆意見

人への被害が出ないように地域住民への周知をお願いしたい。
イノシシ専用の檻で捕獲を試みることや、電気柵の導入など視点を変えた対策を検討されたい。

「読者の心に刺さる見出しを」

～令和2年度町村議会広報研修会～

「令和2年度町村議会広報研修会」がリモート形式で行われました。視聴した動画は、「読者の思考を意識した議会報づくり」「議会広報写真の実践スキルアップ」「町村議会広報コンクルールの優秀紙から学ぶ」の講演3本です。

「読者の思考を意識した議会報づくり」では、読者の心に突き刺さるような見出しが重要であると、再認識させられました。
人間が持つ思考には、直感的で高速に働く「ファスト思考」と、物事を論理的に考えてゆつくりと処理する「スロー思考」のふたつがあります。スロー思考は脳に負担がかかるため、できるだけ使いたくないと人間は思っています。

記事の見出しを見て「読む・読まない」を瞬時に判断するファスト思考を突破しない限り、文章を読んで考えるというスロー思考は始まりません。「面白そう」「簡単そう」と感じられる紙面でなければ、読者からは読んでもらえないという話でした。



第6回 ムチューデント 美郷中 男子バスケットボール部

去年は新型コロナウイルスの影響で、大会は無観客試合で行われました。何か物足りない1年で早くコロナが収束してほしいと思います。
2年生8人、1年生6人でたいへん仲がいいです。みんなで作戦を考えて、去年とは違った戦法で試合に臨みたいと、キャプテンの伊藤大晟君が話してくれました。今年の部活動に対する強い思いを感じます。
今回の写真撮影では、自分たちでポーズを考えてくれました。チームワークの良さで頑張ってくださいと思います。



みさと
議会だより
第65号
クイズ
正解と当選者

★クイズ

【問1】 一般会計決算の歳出は〇〇〇億円4555万円 →【正解】112

【問2】 今回の表紙は美郷中〇〇〇部 →【正解】吹奏楽

◎クイズ当選者

多数のご応募、議会や議会だよりに対するご意見・ご感想ありがとうございました。抽選の結果、次の方々が当選しました。

築田悦子 様 小沼芳枝 様 鈴木恵美 様
佐藤章江 様 照井代根子 様



シリーズ キラリ美郷 vol.61

穏やかで温かみのある芸術

～パステル和アートサークル～

お問合せ

指 導：高橋みどりさん（秋田市）
日 時：第2金曜日 13:30～15:30
場 所：美郷町中央ふれあい館
連絡先：生涯学習課(0187-84-4915)



? クイズ

問1 道の駅改修工事費（道の駅棟）は
〇億9148万円

問2 今回の表紙は美郷中
男子〇〇〇〇〇ボール部

〇の中だけお答えください

応募方法

はがきにクイズの答え、氏名、住所、年齢を書きお送りください。正解者の中から抽選で5人の方に粗品を差し上げます。また、**議会へのご意見**をお待ちしております。

あて先

〒019-1541 美郷町土崎字上野乙170番地10
美郷町議会事務局 議会だより係

締切日

令和3年2月28日（当日消印有効）

●次回定例会は、3月上旬を予定しています。
日程は2月15日発行の「お知らせ版」をご覧ください。

パステル和アートサークルの講師、高橋みどりさんにお話を伺いました。
令和2年4月より月に一度、第2金曜日の13時30分から15時30分に中央ふれあい館で開催しています。
パステル和アートは、パステル（チョークのようなもの）を粉状に削り、それを指につけて描きます。型紙を使うので、絵心がなくてもぬり絵感覚でだれにでも描くことができます。毎月テーマがあ

り、取材した12月は干支の丑を描いていました。
参加者のみなさんは「自分だけの時間を集中して楽しめる」「描くようになってから、周りの景色に目を向けることが多くなった」と喜んでいました。「いいね、いいね」と描いているうちにあっという間に2時間が過ぎてしまいました。
「単発参加OK！ 見学も随時OK!」。新しい趣味始めてみませんか？

美郷町議会事務局

〒019-1541 秋田県仙北郡美郷町土崎字上野乙170番地10(美郷町役場内)
TEL.0187-84-4912 FAX.0187-85-3102 E-mail gikai @ town.misato.akita.jp

美郷町ホームページ <http://www.town.misato.akita.jp/>

【印刷・製本】株式会社アイ・クリエイト

地球環境にやさしい
ベジタブルインキを
使用しています。
VEGETABLE
OIL INK